



【校訓】 立志・協働・生命

南風 ~ MINAMI KAZE ~

高知市立南海中学校 学校便り No. 7

令和4年4月14日(木) 通算2103号

高知市長浜 5235 Tel.088-842-3291

定期テスト → 単元テスト + 学力診断調査

南海中の学力定着のしくみ

単元ごとの学習内容をしっかり定着させることを目的として、南海中では定期テストを廃止し、代わりに『単元テスト』を導入しています。短いスパン（スモールステップ）で学習を振り返ることができるのが利点です。そしてそれが後々にも定着しているかを測るのが『学力診断調査』（=実力テスト）です。



南海中では1・2年生で年間4回、3年生で年間5回の学力診断調査を行い、進路決定の際の参考資料にも役立っています。

南海中では1・2年生で年間4回、3年生で年間5回の学力診断調査を行い、進路決定の際の参考資料にも役立っています。

学年	1学期			2学期				3学期		
	単元①	単元②	単元③	単元④	単元⑤	単元⑥	単元⑦	単元⑧	単元⑨	単元⑩
1年	到達度把握調査	学力診断調査①	実力テスト	学力診断調査②	学力診断調査③	県版学力調査	学力診断調査④	学力診断調査⑤	私立校入試	公立校入試
2年		学力診断調査①		学力診断調査②	学力診断調査③	県版学力調査	学力診断調査④			
3年	学力診断調査①	全国学力調査	学力診断調査②	学力診断調査③	学力診断調査④		学力診断調査⑤			

令和4年度の学力診断調査実施計画

	1学期		2学期		3学期
1年	—	6月21日	8月31日	11月4日	3月16日
2年	—	6月21日	8月31日	11月4日	3月16日
3年	4月11日	6月21日	8月31日	11月4日	1月11日



※ 1・2年の実施日は授業の進度等により変更になることがあります

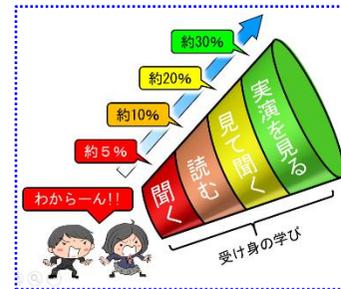
説明をしっかりと聞いていれば本当に分かる？

南海中学校の授業での学び方

お話や講演を聞いていると、誰にもどうしても眠くなってしまおうという経験があります。それもそのはず、話を「聞く」だけでは、内容の5%しか頭に残らないのだそうです。最近はスライドなどを使つての説明も増えてきましたが、「見て聞く」のだと内容の20%が理解でき、さらに「実演」が入ると30%ほど理解が進むそうです。しかし、それでは受け身の学習にしかならず、それ以上の「わかった」にはなりにくいと言われています。

ところが、「グループで討論」「実際にやってみる」「他の人に教える」といったアクティブな活動を授業に取り入れると、学習定着度が飛躍的に高まることが知られています。

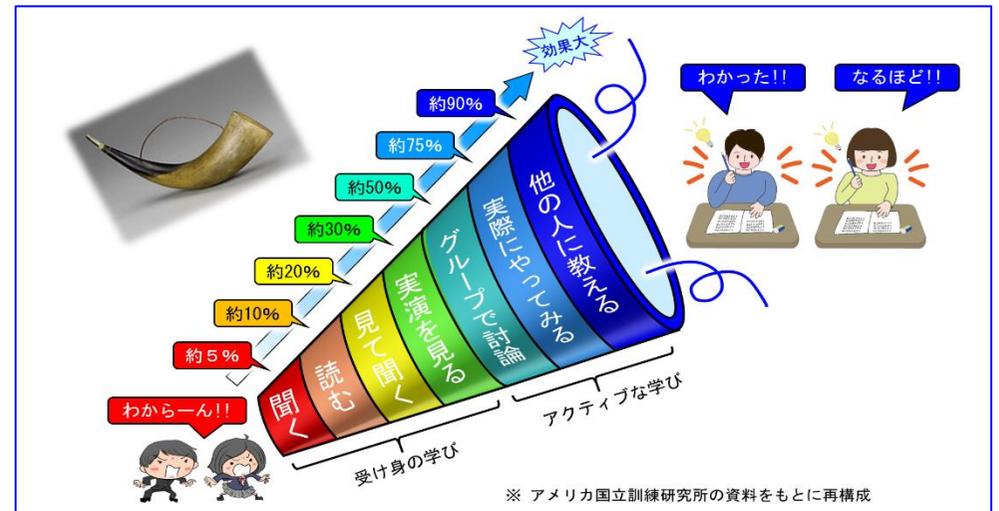
南海中学校では、この考えに着目し、専門の講師の方からのアドバイスを受けながら、10年前から生徒が互いに学びあう学習スタイルを導入しています。



↓ アクティブな学びへ

この方法は、「主体的な学び」「アクティブラーニング」といった言葉で表され、全国の小学校で昨年度から、同じく中学校でも本年度から本格的に導入される新しい学び方のスタイルで、この先、社会に出てからも必要とされる力を育てます。

また、この学び方では、教えてもらう側だけでなく、教える側もさらに理解が進むという利点があります。南海中学校がめざすのは「教えあい」ではなく、どの学力の生徒も伸びる「学びあい」です。



※ アメリカ国立訓練研究所の資料をもとに再構成

しっかりと聞けば分かるという受け身の学習よりも、関わりあい、話しあい、考え、議論することを通じて、自分から進んで学習に参加できるようになることが、何よりも力をつける学びの原動力になります。